

SR600 NISHI NIHON 試走レポート

実施日：2019年8月4日（土）～5日（日）

試走担当：片山泰輔 オダックス近畿神戸班

コース調査の分割試走を何度か行った後、8月4日（土）～8月5日（日）にて SR600NISHI NIHON の試走を行ってきました。

PC1 ファミリーマート姫路壱丁町店～

PC2 林道峰山・大田池線終点看板

朝5時に姫路城近郊のPC1 ファミリーマート姫路壱丁町店をスタートし、北上していきます。休日の早朝ということもあり車も少なく順調に進みます。国道312号線から県道404号線をつなぎ、ほどなくして砥峰高原の取付につき登坂を開始。HAT神戸発着コースでおなじみのルートで登ります。ほどなくして太田貯水池方面へ。斜度はややきつめながら、まだまだ序盤。PC2の林道峰山・大田池線終点看板に到着。

～PC3 ミズバショウ公園看板

最初のPCを通過後、しばらくアップダウンを繰り返して砥峰高原へ到着。ここから国道429号線と県道6号線を経由して但馬エリアへ。富士野峠を超えてダウンヒル、明延銅山跡地を通過して、緩やかな下り基調を進みます。ほどなくして県道712号、加保坂の登坂を開始。暑さで汗が滴りますがしばらくしてPC3 ミズバショウ公園看板に到着。

～PC4 鉢伏高原看板

次のPCまでは難関区間。緩やかな林道区間を走った後、一気に下って県道89号線へ。ここからハチ高原を目指しての登坂を開始。旅館街の前の道は斜度もきつくなかなかタフ。ほどなくしてPC4 鉢伏高原に到着。緑豊かでああ、上ってきたなという達成感にしばし浸り、次のPCを目指します。

～PC5 かつら千年水水くみ場

緑豊かなハチ高原をダウンヒル。しばらく下ると別宮の棚田があります。但馬エリアは多数の棚田が存在し、今回のルートにも棚田が組み込まれています。高原地帯ということもあり、影もすくないことから容赦なく暑さが襲い掛かってきます。この日は36度の掲示を示していました。今度はハチ北エリアへの上りは距離は短いものの、斜度はなかなかパンチがあり、汗がひたすら滴ります。ほどなくしてハチ北高原に到着し、ほどなくしてPCへ。かつら千年水水くみ場の水は冷たく火照った体を冷やし、のどを潤してくれます。ボトルにたっぷり水を補給して次のPCへ。

～PC6 うへ山の棚田看板

兎野高原を通過したあと、板土野の棚田、水車小屋、うだつの町並みなど古き良き日本を感じながら国道 482 号線へ。そして脇道へそれて次の PC を目指します。和牛の里 但馬ということもあり、いたるところに牛舎が。ほどなくして PC6 うへ山の棚田に到着。大きな棚田ではありませんが、日本の棚田 100 選にも選ばれていて、これが実に美しい。

～PC7 氷命名水水くみ場

しばらく下って国道 482 号線へ。長らく通行止めが続いていた国道 482 号線が開通。小代溪谷沿いは暑さもやわらぎ、溪谷美を眺めながらマイペースに上っていきます。ほどなくして兵庫県に別れを告げ鳥取県へ。しばし下ると左側に PC が。氷命名水は実にうまくだい。

～PC8 上山高原コース看板

氷ノ山を横目に見ながらダウンヒル。途中、棚田 100 選にも選ばれているつく米の棚田で写真を撮り。そこから一気に下って若桜エリアへ。道の駅で昼食を取って英気を養った後、今回の最難関区間、扇ノ山エリアへ。但馬エリアは自然と人が共存を感じることができるため、きついコースでも人の温かみを感じるルートですが、扇ノ山エリアは、圧倒的なネイチャー感があります。しばらく走って河合谷林道の取り付けへ。ここから長い長い林道区間が始まります。人気もすくなく、鬱蒼としたジャングルのような道が続きます。斜度はそれほどでもないのですが、山の深さがなかなか不気味です。標高 1100m 付近、水のふれあい広場に到着。ここを曲がってしばらく進むと上山高原エリアへ。この日は夕立の影響もあってガスっていますが、晴れているときは日本海が見える、西日本でも屈指の景観を誇る高原エリアです。そして PC へ到着して U ターンします。

～PC9 鳥取大砂丘看板

再び水のふれあい広場へ戻り、ここから一気にダウンヒル。河合谷高原の美しさに癒されながらも、道を急ぎます。夕刻にもなると多数の鹿が飛び出してきました。要注意。みちの駅岩美でしばし休憩して鳥取砂丘へ到着。なんとか日没には間に合ったか。そそくさと PC での写真撮影を行って出発。

～PC10 投入堂遙拝所案内板

ここから三朝町・倉吉エリアを目指します。結構疲れてきましたので早くホテルで寝たいという気持ちにかられ、道を急ぎます。それほどきつくはないはずですがさすがに疲れてきているし夜間ということもあり、県道 21 号の上りはきつい。ほどなくして PC に到着。暗くて投入堂は見えませんがそれよりも半分走り切った安堵感とやっとなれるという安心が。しばらく走ってコンビニで買い出ししてホテルへ。

～PC11 枳水原標識

疲れも多少回復しつつも、だるさを感じながらホテルを後にし、いよいよ大山へ。ほどなくして大山環状道路に入り、上って下って上って下ってを繰り返していきます。船上山、一息坂峠では小休止を入れながら大山寺エリアへ。そこからしばし休んで PC で写真撮影。

～PC12 鏡ヶ成看板

何度も何度も走っている大山ですが、SR600 にて登場する大山は疲労感もあってなかなか厳しい。鍵掛峠を通過して、アップダウンを繰り返しながらほどなくして鏡ヶ成へ。何度も来たくなる景観が目の前に広がります。

～PC13 岡山森林公園案内図

蒜山大山スカイラインを一気に下ります。鬼女台など見所ありつつも腹がへったということで道を急ぎ、ひるぜん焼そばの名店やまな食堂へ。がっつりと補給したあと津黒高原を目指します。スキー場の横を通過して林道区間へ。扇ノ山エリアとはまた異なりますが、現生と隔離されたような美しき世界が広がります。林道区間を延々と走り続け、しばらくして岡山森林公園に到着。

～PC14 恩原高原 パノラマゲレンデ クリスタルパレス

人形峠を経由して、乙原高原を目指します。大山、津黒高原をこえてきたため、やはり疲労感はぬぐえませんが。乙原高原への上りは短いものの斜度がなかなかあるため苦戦しますがなんとか PC に到着。

～PC15 天然記念物赤波川溪谷おう穴群案内図

乙原湖の湖岸を走り、国道 482 号線へ。辰巳峠に到着してここから一気に鳥取県へ。用瀬を経由して PC に到着。なんとか日没前にぎりぎり間に合ったか。

～PC16 若杉天然林 案内図

ここから赤波川溪谷沿いを走って板井原集落へは寄らず一目散に智頭エリアへ下山。コンビニでしばし休息。ここから志度坂峠を上って粟倉エリアへ。すっかり日も暮れて涼しさを感じながら、若杉ヒルクライムで有名なルートを走ります。ヒルクライムコースだけあって上りりごたえ満点。ほどなくして PC へ到着。夜間はさすがに不気味なのでさっさと通過。

～PC17 白口高原 石碑

来た道に戻って峰越峠を越えてちくさ高原へ。暗闇の中、一気にダウンヒル。ここからラストの山岳区間へ。あと一仕事かと言いかせ、再び山岳区間へ。鷹巣集落を超えて、溪流沿いの道を走ります。ところどころ斜度のきつい上りがありながらもなんとか PC へ。

～PC18 ファミリーマート姫路壱丁町店

PC から少しだけのぼって一気にダウンヒル。ここから平坦基調の道を走ります。宍粟市からいよいよ姫路市内へ。しばし走るといよいよ姫路城が見えてきます。深夜の姫路城を横目に見ながら最終PCへ到着。ああ、やっと終わったなあという安ど感に浸ります。棚田、名水、厳かな山々など、西日本にはいろんな風景があるなと思い起こしながらゴールの味をかみしめました。